

**概要** 歩くまちの実現のため、地域の住民や事業、その他の関係機関が一体となって、自動車交通に過度に依存しない歩くまちにふさわしい交通体系の確立を目指す。

**総合評価**

C

市民生活実感評価では、実態として自家用車の利用を控える人がまだまだ少ないとの結果ではあるが、平成14年度及び平成15年度のパーク&ライド利用者アンケートの調査結果から評価した客観指標が大変良い傾向にあることから、総合的には施策の目的はそこそこ達成されていると評価する。

**この施策の客観指標評価**

客観指標総合評価: a

指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度

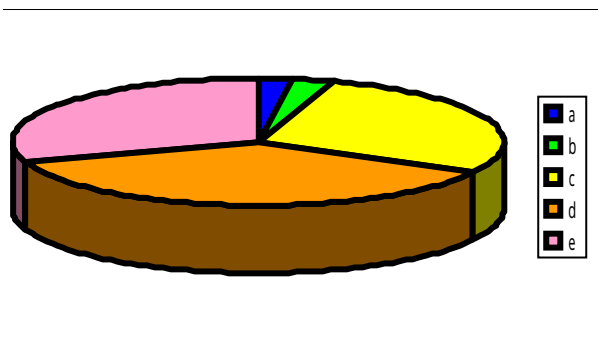
評価

(準)パーク&ライドの利用者満足度 (%)

95.6	96.7		a
------	------	--	---

**この施策に関する市民生活実感評価**

環境問題や道路事情のことを考えて自家用車の利用を控える人が増えた。



答a: そう思う	9	2.2%
答b: どちらかというと思う	11	2.7%
答c: どちらとも言えない	113	28.0%
答d: どちらかというと思う 思わない	149	36.9%
答e: そう思わない	122	30.2%
有効回答数	404	
市民生活実感評価		e

**<参考> この施策実現のための主な事業**

**事業名**

周辺地域における自治会バス運営補助